

第14回 洛陽市技術研修生 来岡

今回、第14回洛陽市技術研修生の2名が、平成14年10月1日に来岡され、受入先である岡山外語学院と岡山理科大学でそれぞれの専門分野の研修を受けています。また、国際交流イベント等にも積極的に参加され、市民との交流を図っています。



氏名 王 宏民 (おう こうみん)
研修先 岡山外語学院日本語科
研究分野 日本語及び語学教授法
職業 洛陽大学外国語学部助教授



氏名 張 文学 (ちょう ぶんがく)
研修先 岡山理科大学総合情報学部情報科学科
研究分野 コンピューターネットワーク及び
データベースの研究
職業 洛陽大学電子工学部講師

第11回 岡山市技術研修生 洛陽市へ派遣

応募者11名（男性1名、女性10名）の中から選ばれた第11回岡山市技術研修生の2名が、今年3月、洛陽市へ出発しました。2名は、1年間洛陽市内の洛陽大学で研修を受けるとともに、岡山市からの親善大使として洛陽市民との交流を深めていただきます。体に気を付けてがんばってください！



氏名：戸田 純子 (とだ じゅんこ)
研修先：洛陽大学
研修分野：中国語
抱負：4月からの1年間、前向きな姿勢を忘れず、多くの人達と接し、中国文化を肌で感じてきたいと思います。



氏名：八木 絢子 (やぎ じゅんこ)
研修先：洛陽大学
研修分野：中国語
抱負：今回研修生に選ばれ喜びと共に強い責任を感じています。日中友好の一端を担えるよう努力していきたいと思っています。

第9回 岡山市子供海外派遣研修

今回の研修は、中国・洛陽市、韓国・富川市、そして台湾・新竹市の3都市に岡山市内の中学2年生と3年生を派遣しました。派遣された生徒たちは、派遣先で一般家庭にホームステイしたり現地の学校を訪問し、他国の家族や子供たちとのふれあいを通して国際的視野を広めるとともに、異文化への理解と国際交流を深めました。

中国・洛陽市

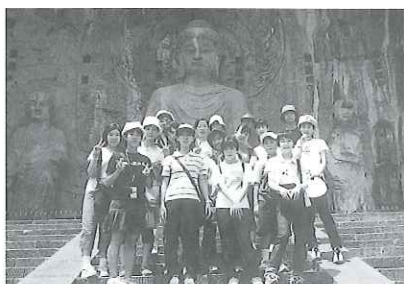
派遣人数：15名
派遣期間：平成14年7月26日
～8月6日



洛陽のホテル「洛陽牡丹大酒店」にて記念撮影



万里の長城



竜門石窟

韓国・富川市

派遣人数：15名
派遣期間：平成14年7月26日
～8月5日



ソウルサッカースタジアムにて



韓国料理教室



サムルノリ体験

台湾・新竹市

派遣人数：9名
派遣期間：平成14年7月26日
～8月6日



新竹駅にて



金鶏蛋休閒農場にて



忠烈祠にて

岡山市外国人市民代表者会議・意識アンケート調査実施

多様な考え方や価値観、異なる歴史や文化などを背景を持つ外国人市民の意見を市政に反映させるシステムづくりを目的とし、平成15年1月、岡山市外国人市民代表者会議・意識調査アンケートを実施しました。無作為に抽出された1,600人を対象に、外国人市民代表者会議、地域生活、仕事とくらし、保健・医療、教育、住まい等約40項目について5カ国語(日本語、英語、中国語、ハングル、ポルトガル語)のアンケートを作成し、送付しました。



五カ国語に翻訳され対象者に送付されました

友好交流サロン

外国語会話教室は「中国語会話教室(入門・初級)」、「スペイン語会話教室(入門・初級)」、「ハンゲル会話教室(入門・初級)」、「シニア英会話教室」、そして「中国語会話実践教室」の9コースを設けています。外国人を対象とした「日本語教室」は、受講者のレベルに応じて7～8グループの編成で実施しています。

また、毎月1回(9月、10月を除く)、「国際交流ふれあい講演会」を開催しています。

(1) 国際交流ふれあい講演会

岡山市では、現在さまざまな国の人たちが生活し、色々な分野で国際交流に携わっています。これらの交流の中で経験されたことやそれぞれの国について、講師の方々に講演していただきました。この講演を通じて市民の方々に国際理解を深めていただけたと思います。



4月 ケビン ミラーさん
「僕のすてきな国際化」



5月 クルモフ パレリーさん
「バラの国ブルガリア」



6月 岸本 京子さん・渡邊 伸也さん
「洛陽に暮らして一年」



7月 ジョティ バッタチャンさん
「ネパールというところ」



熱心に聞く聴衆



8月 李 亦梅さん
「中国人留学生と日本について」



11月 マリア ホッセンさん
「私の故郷ボリビア そして第二の故郷日本」



民族衣装を着て
ダンスを披露してくれました



12月 ラジア ルクサーナさん
「緑の国 バングラデシュ」



1月 ジャン ズルフィカルさん
「私の国トルコ」



2月 半澤 秀行さん
「日本人学校教員から見たインドネシア」



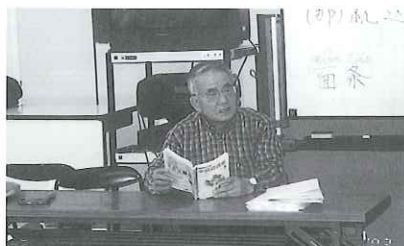
3月 金 弘棟さん
「日韓の時差について」

(2) 外国語教室と日本語教室

中国語会話教室



入門
胡 鈺娟先生



初級
河田 治先生

スペイン語会話教室



入門
ルイス
フランシスコ先生



初級
フィデンスア
オルティス先生

ハンガール会話教室



入門
崔 泰順先生



初級
黄 義中先生

シニア英会話教室



アニタ
チャイ先生

中国語会話実践教室



李 炎先生



劉 健先生



張 偉麗先生



祁 洁先生



初心者から上級者まで、小人数のグループに分かれ、熱心に勉強しています

(3) ボランティア活躍記

「ボランティアを通して思う事」

赤司 咲子(ボランティア通訳・翻訳登録者)

私はアメリカ合衆国・ボストンの大学に交換留学生として留学していました。現在は、語学と留学先での経験を生かして岡山大学の留学生課に勤務しています。この仕事に就いたことを誇りに思うと同時に大変感謝していますし、未熟ですが留学生に役立つ仕事を喜んでほしいという気持ちで与えられた仕事に精一杯取り組んでいます。それは、留学中私が困難にぶつかった時、救いの手を差し出してくれた数多くの人々との出会いがあったからです。友人への感謝と恩返しをしたいという思いが、人のために貢献したいという思いに強く結びついているのです。

また、日々の仕事を通して学ぶ事が多いのも事実です。留学生との関わり、それに関する業務に携わった結果、視野を広げ更なる向学心を持つことが出来ました。何よりも人のお役に立つと、その度に自分が尊い何かを得ているということにも気が付くことができたのです。そのおかげで私自身の人生も心豊になるように思えます。この思いが、翻訳・通訳ボランティアへの登録を後押ししたのだと思います。

現在までにボランティアとして英語翻訳を1件担当させていただきました。全く異なる構造を持つ二言語を、しかも第三者によって書かれたものを翻訳すると言うことは大変な作業です。ボランティアとはいえ責任と多少のプレッシャーも感じました。しかし、翻訳をしていくうちに徐々に要領を得、翻訳を終えた時には大きな達成感を感じました。関係者の皆様には良い経験をさせて頂いたと大変感謝しております。通訳ボランティアの依頼にも是非挑戦したいと意気込んでいます。そして、一人でも多くの方々の輪が広がる事を願っております。



真ん中が筆者

「外国人の方々と会えるよろこび」

赤木 敏雄(ホームステイ・ホームビジット登録家庭)

1994年にホームステイ・ホームビジット制度に登録して以来、17人の外国の方々と知り合うことができました。特に内モンゴルから来て日本語学校を卒業し、岡山の旅行会社に就職した白音さんと、岡大で勉強中の妹さんは、今でも時々尋ねて来ます。西オーストラリア州パースに住むTimは、子供1人を持つ父親になりました。パースに行った時には食事を共にします。アメリカのイリノイ州に住むRussとはゴルフ友達です。アフリカのウガンダからのJustineは、長女が描くネイルアートが気に入り、帰国後たびたび便りをくれます。私たちがホストファミリーになった動機は、多くの外国人の人たちとの出会いが楽しみだったからです。タイの人が来ればタイへ、中国の人が来れば中国へ。ホームステイした人を頼るのではなく、聞いた話を体験したくて出かけます。最初の数人を受け入れるに当たっては、随分と気を使いました。観光地をどこにしようか。食事を何にしようか。どんな話をしたら良いのか。気に入って帰ってもらえるだろうか。慣れるに従って、肩に力を入れすぎると、かえってうまく行かないことに気づきました。例えば食事。妻の得意料理の一つに、グラタンがあります。これはどこの国の人でも食べます。もう一品は、手巻き寿司です。刺身を食べるかどうか心配する必要はありません。生の魚の他に、ステーキ、卵焼き、キュウリ等を用意します。自分で巻いてもらいます。箸を使わなくても食べることができます。食べるものは好き、食べないものは嫌いと思うことにしています。食卓を囲むと話も弾みます。

世界地図に来訪者の顔写真を貼ってパネルにし、次の訪問者を楽しみにしています。



右端から筆者、白音さん、筆者の妻

(4) インターネットサービス提供事業

友好交流サロンでは、無料インターネットサービスを行っています。インターネットやメールのチェックをするため、毎日多くの方がやってきます。



世界中の情報を得たりメールのやり取りが得意外国人・日本人市民ともに好評です

(5) 「あくら」の発行

「あくら」は英語、中国語、ハングル、スペイン語の4カ国語に翻訳され隔月発行されている外国人向け情報紙です。編集ボランティアの方が、毎月1回編集会議を行い、記事の内容を決定し、取材、編集を行っています。



よりよい「あくら」を作るため頑張っています



4カ国語に翻訳されています



岡山市国際交流祭

岡山あいフェスティバル2002

第13回岡山市国際交流祭「岡山あいフェスティバル2002」が昨年10月25日(金)、26日(土)(於:西川アイプラザ、下石井公園一円)を中心に開催されました。グローバルビレッジ他さまざまなイベントを通じて、日本人市民と外国人市民とのふれあいの中で、相互理解と友好親善を一層深めることができました。

(1) 日韓学生交流会

(平成14年8月10日)

韓国青年文化交流使節団が、朝鮮通信使の辿った道りを再現しながらウォーキングし、全国各地を訪れ交流活動をするイベントのパレードに参加しました。また、文化交流会では韓国人と日本人大学生がエールの交換を行いました。



(2) オープニングイベント

(平成14年10月25日)



萩原岡山市長の開会挨拶

グローバルビレッジ開会式
各国国旗入場



蓮昌寺保育園児による鼓隊

おokayamaグローバルビレッジ

(平成14年10月25・26日)



左上から：

- ・民族衣装ファッションショー
- ・相撲場所
- ・ステージパフォーマンス
- ・世界各国の料理や民芸品等を販売した各国ブース
- ・閉会式後のサルサダンス

(3) 韓国伝統芸能公演

(平成14年10月25日)



西川アイプラザ5Fホールでは、韓国の伝統舞踊やチャンゴ・琴の演奏が披露され、日頃なかなか触れることのできない韓国伝統のパフォーマンスに、観衆は魅了されていました。



(4) 子供のための国際理解フォーラム

(平成14年10月26日)

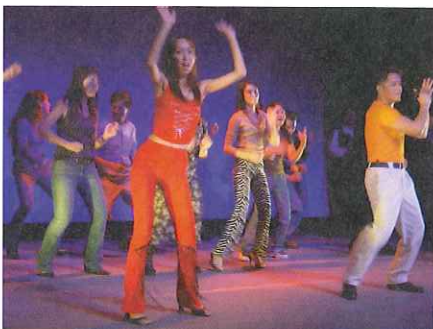
小学校4年生から中学校3年生を対象にしたこのイベントでは、インドネシアの楽器、アングロンの演奏体験をはじめ、インドネシアからの留学生による講演会が行われました。また、インドネシアの歌や遊びが紹介されました。



(5) サルサダンス交流会

(平成14年10月26日)

Language & Dance School MABEによるサルサダンスの体験教室と、ダンスの交流会が行われました。参加者は日頃なかなか触れることのできないラテン文化を体験することができました。



(6) 青年海外協力隊の見た世界

(平成14年11月24日)

西川アイプラザ4F会議室で青年海外協力隊員の帰国報告と基調講演、その後家族をテーマにした座談会が開催されました。また、同プラザ4F展示場では、来場者の方々に隊員の皆さんの活動紹介が行われました。



(7) 日中友好茶館

(平成14年11月30日)

日中友好茶館では、煎茶のお手前と中国茶表演、そして中国茶葉・茶道具の展示が行われ、参加者は中国の伝統文化に触れることができました。また、「お茶の伝来と日中友好」と題しミニ講演会も開催されました。



(8) プロブディフ市紹介展

(平成14年12月24日~26日)

岡山市はブルガリア共和国プロブディフ市と姉妹都市を締結して今年で30周年を迎えました。これを記念し平成14年10月下旬に岡山市民親善訪問団がプロブディフ市を訪れた際撮影された、最新のプロブディフ市内、交流活動の様子を中心に、交流の軌跡などを写真などで紹介する展示会が開催されました。



(9) 姉妹縁組サンホセ市展

(平成15年1月22日~27日)

岡山市民の寄付5万ドルをもとにコスタリカ・サンホセ市に建設された岡山公園を写真などで紹介する展示会が、まちかど美術館サンホセで開催されました。岡山公園は、サンホセ市民の憩いの場となり親しまれています。

(写真提供：山陽新聞社)



(10) 国際交流スキーツアー

(平成15年2月22日)

外国人30名、日本人30名、スタッフ23名が参加し、恩原高原スキー場へ行きました。普段なかなかスキーをする機会のない外国人参加者は、日本人参加者と共にスキー講習会に参加したり雪遊びをして楽しい1日を過ごしました。



● 理事会並びに総会開催

(平成14年4月17日)

岡山市国際交流協議会の平成14年度理事会並びに総会を西川アイプラザで開催した。また、総会后岡山理科大学で研修中の洛陽市技術研修生2名と、カナダ出身の岡山市国際交流員1名との懇談会を行った。



総会

● 「洛陽牡丹花ミニコンサート」開催

(平成14年4月19日)

岡山市日中友好協会は当協議会との共催で、中国洛陽市より演奏家2名を招いてミニコンサートを開催した。このコンサートでは、中国国内でも有名な洛陽の牡丹にまつわる楽曲等が披露された。



萩原岡山市長を表敬訪問

● 岡山大学・サンノゼ州立大学相互派遣

(平成14年7月17日)

岡山大学とサンノゼ州立大学は平成11年5月に学生交流協定を締結しており、平成13年度から学生の相互派遣を行っている。岡山大学から8月に派遣された学生と、サンノゼ州立大学から5月に帰国した2名、そしてサンノゼ州立大学から来岡中の学生1名が萩原岡山市長を表敬訪問した。



萩原岡山市長を表敬訪問

● 「富川市・岡山市交流美術展」開催

(平成14年8月28日～9月2日)

2002年の日韓国民交流年にあたり、富川市ボックサゴル文化センターで共同美術展が開催された。岡山市の画家20名、富川市の画家20名と光州(くあんじゅ)市の画家10名の絵画、書、版画などの作品合計52点が展示された。



美術展会場の様子

● コスタリカ観光促進官来岡

(平成14年9月11日)

コスタリカ共和国政府観光局のメルチョール・マルコス観光促進官が国際連合工業開発機関東京投資・技術移転促進事務所の招聘で来日されたのを機に、萩原岡山市長を表敬訪問した。



萩原市長と歓談するマルコス氏

● 「洛陽市仏教文化交流訪日団」来岡

(平成14年11月18日)

岡山市日中友好協会は、洛陽の古刹・白馬寺を通じて仏教文化交流を発展させるため、洛陽市仏教文化交流訪日団一行5名を招聘し、洛陽白馬寺が計画推進している「国際寺院構想」及び仏教文化交流について協議を行った。



一行の市長表敬

ホットミニ情報

- ◆富川金型事業協同組合訪問団一行15名来岡。(平成14年4月17日)
- ◆岡山市日台友好都市議員連盟河合和成会長一行15名が、新竹市を訪問した。(平成14年4月25日～28日)
- ◆岡山南ロータリークラブ受入れハーバード大学夏期研修生4名が来岡し、これに伴い萩原岡山市長を表敬訪問した。(平成14年6月12日)
- ◆学校法人加計学園の招聘により「学生文化研修団」一行30名が来日し、岡山菱川助役を表敬訪問した。(平成14年6月27日)
- ◆岡山放送株式会社と業務交流協議書を締結している中国洛陽テレビ台より、「中国洛陽テレビ台友好交流団」一行6名が来岡。(平成14年7月9日)
- ◆国際生活体験岡山地区委員会招聘「2002年アメリカ高校生日本語研修グループ」一行12名が来岡し、ホームステイや着物の着付け体験等の文化交流、日本語学習を行った。(平成14年7月1日～25日)
- ◆岡山市立平福小学校と洛陽市実験小学校が、昭和57年9月9日に姉妹校縁組を締結し、平成14年に20周年を迎えた。このたび、8月4日から8日間の日程で「平福小学校子供親善大使」一行20名が洛陽市を訪問した。(平成14年8月4日～12日)
- ◆岡山京山(きょうざん)ライオンズクラブと1985年以来姉妹関係にある韓国ハンチョンジュウライオンズクラブより一行10名が来岡し、萩原岡山市長を表敬訪問した。(平成14年11月7日)
- ◆ノートルダム清心女子大学・アジア芸術文化交流協会招聘「富川市美術協会」会長 姜善求(かん そんぐ)氏一行来岡。(平成14年12月12日)
- ◆在日ハイチ大使館特命全権大使マルセル・デュレ氏が、福山学校長会に出席するため中国地方を訪れたのを機に、福山の近隣都市との交流を深めるため来岡、菱川助役を表敬訪問した。(平成15年2月7日)
- ◆岡山県日本中国友好協会の招聘により、洛陽市博物館から王綉(おう しゅう)館長を団長とする「洛陽市文化芸術友好交流団」一行9名が来岡し、表敬訪問した。(平成15年2月24日)
- ◆国際交流員として岡山市役所国際課に勤務していた金弘楳(きむ ほんぐ)氏が、任期満了に伴い3月31日をもって退職された。

* 募 集 中 *

- ★ ボランティア通訳・翻訳登録者
- ★ ホームステイ・ホームビジット引受登録家庭
- ★ 外国人向け情報紙「あくら」編集ボランティア

随時募集しておりますので、よろしく願いいたします。

岡山市国際交流協議会事務局

〒700-8544 岡山市大供1-1-1 岡山市役所国際課内

TEL: 086-803-1112

FAX: 086-225-5408

E-mail: kokusaika@city.okayama.okayama.jp

URL: <http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/kokusai/index.htm>

〒700-0903 岡山市幸町10-16 西川アイプラザ4階 友好交流サロン内

TEL: 086-234-5882

FAX: 086-234-5878

E-mail: oifa@po1.oninet.ne.jp